

実施計画事後評価（H25年度完了事業）

番号	事業名	担当課	事業内容	期間 (年)	総事業費 (円)	指標名 (単位)	事業開始値 (A)	最終目標値 (B)	最終実績値 (C)	達成率 (%) (C)-(A)/(B)-(A)	評価	評価に対する理由など (未達成の理由、事業の効果、今後の課題など)
1	介護施設開設準備等特別対策事業	介護保険課	地域密着型特別養護老人ホームを新規開設するために必要な費用を補助する。	1	27,550,000	開設事業所数	0	2	2	100	達成	特別養護老人ホームを新規開設するために必要な人員、設備等を整備することで、受け入れ体制を整えることができ、もって高齢者の福祉の向上を図ることができた。
2	地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	介護保険課	既存の介護療養型医療施設を老人保健施設に転換するために必要な費用を補助する。	1	18,000,000	介護施設床数	18	29	29	100	達成	老人保健施設への転換、併せて床数を増床したことで、入所者受入体制が拡充し、福祉の向上を図ることができた。
3	地域介護・福祉空間整備推進事業	介護保険課	定期巡回・随時対応型の訪問介護看護事業所の整備に必要な費用を補助する。	1	10,000,000	介護基盤の整備 (施設)	0	1	1	100	達成	24時間切れ目ないサービスや介護と看護連携による訪問介護看護サービスが提供でき、在宅サービスの充実を図ることができた。
4	介護基盤緊急整備事業（特別養護老人ホーム整備事業）	介護保険課	施設入所待機者の減少を図るため、介護老人福祉施設の整備を図る。	1	101,500,000	施設整備数（床数）	0	29	29	100	達成	老人福祉施設を整備したことで待機者数の減少を図ることができ、高齢者の福祉の向上につながった。
5	糸島市クリーンセンター集じん灰貯留槽改造事業	環境施設課	現在アームロール車で飛灰を搬出。飛灰の貯留槽を改造し、ジェットバック車で運搬することで経費の削減を図る。	1	44,500,000	飛灰資源化経費削減 (平成26年度予算) (千円)	0	△12,600	△10,834	86	未達成	本事業により、飛灰処理量の減少並びに委託人員の削減に伴い、経費を削減することができた。 また、飛灰の積み込み作業における飛散防止の効果もあり、施設の安全性が確保できた。 未達成の要因として、委託人員の削減は実施できたが、個人搬入の増加など、他業務が増加したことで、見込んでいた金額まで削減することができなかった。
6	防災行政無線デジタル方式移行事業	危機管理課	国のアナログ無線方式からデジタル無線方式への転換に伴い、糸島市の防災行政無線も移行する。	3	355,582,200	拡声子局の更新局数 (局) 防災行政無線難聴世帯数（世帯）	0 527	48 0	50 0	104 100	達成	本事業により、二丈地域防災行政無線拡声子局（45局）のデジタル化と市内難聴地域5地域（5局）の整備を行った。このことにより、527世帯の難聴地域を解消することができた。今後は、前原地域と志摩地域の防災行政無線拡声子局のデジタル化を検討する。
7	自助・共助等防災啓発パンフレット等作成事業	危機管理課	「防災パンフレット」を作成し全戸に配布する。 「職員必携防災ハンドブック」を作成し、災害時の体制の強化を図る。	1	1,246,980	市民向け災害対応マニュアルの配布 (戸)	0	38,000	38,000	100	達成	本事業により、「わが家の防災ハンドブック」を38,000部作成し、市内全戸に配布することにより、市民への防災啓発を行うことができた。また、併せて自主防災組織役員のための携帯防災手帳2,500冊及び職員必携ハンドブック700冊を作成・配布し、災害時の体制強化を図った。
8	安定ヨウ素剤配備事業	危機管理課	UPZ（原発30km内）圏外の住民に放射性ヨウ素の内部被ばく防護対策として、安定ヨウ素剤の備蓄及び配布体制の整備を行う。	1	0	市内40歳未満の安定ヨウ素剤の備蓄数 (人分)	0	42,500	0	0	その他	本事業については、国の予算で整備することになったため、平成25年度に整備をしていない。今後、整備時期が確定次第備蓄を行う。
9	防災情報通信設備整備事業	危機管理課	Jアラート等から自動起動、情報発信するシステムを整備することで、緊急事態における市民への迅速、多角的な情報伝達を実現する。	2	0	登録者の増加（人）	3,500	4,000	3,500	0	その他	本事業については、国の補助事業を活用し実施する予定であったが、事業が採択されなかったことから、実施していない。
10	いとしまPR事業（博多どんたく港まつり参加事業）	経営企画課	博多どんたく港まつりに参加し、糸島をPRする。	1	946,839	市民の参加人数 (人)	0	150	200	133	達成	延べ200万人を超す観光客が集まる博多どんたく港まつり（パレード）に、200人を超える市民とともに参加し、糸島市のPR及び市民の一体感を醸成することができた。
11	糸島市まちづくり基本条例ハンドブック	経営企画課	まちづくり基本条例を市民に普及することを目的として、ハンドブックを作成する。	1	831,600	条例を知る人の割合 (%)	0	80	52.3	65	未達成	まちづくり基本条例の条文、逐条解説、条例制定の経過、取組などをまとめたハンドブックを作成し、全戸に配布した。今後さらに本条例の趣旨を市民に周知するよう取り組みを行っていく。 （周知率：平成25年度市民モニター第2回アンケート）
12	小型動力ポンプ積載車更新事業	警防課	桜井分団小型動力ポンプ積載車更新（B-2級）及び芥屋分団小型動力ポンプ積載車更新（B-2級）を行う。	1	19,409,308	耐用年数を迎えた積載車率（%）	67	0	0	100	達成	本事業により耐用年数を迎えた小型動力ポンプ積載車2台を更新することができ、地域消防装備を充実させ、災害時の対応を安定して行う体制ができた。
13	麻しん風しんワクチン予防接種費用助成事業	健康づくり課	妊婦の風しん感染を防止するため、ワクチン接種費用の一部又は全部を助成する。	1	398,000	風しん発症者数（人）	3	3	3	100	達成	県が行う抗体検査と同時に実施することで、妊婦の風しん感染防止の対策が図られ、事業開始以降、市内において感染者は発生していない。今後も県の抗体検査と連動していくことが必要である。

番号	事業名	担当課	事業内容	期間 (年)	総事業費 (円)	指標名 (単位)	事業開始値 (A)	最終目標値 (B)	最終実績値 (C)	達成率 (%) (C)-(A)/(B)-(A)	評価	評価に対する理由など (未達成の理由、事業の効果、今後の課題など)
14	健康のまちづくり事業	健康づくり課	めじゃ〜リーグ糸島（福岡市・糸島市連携事業）を実施する。	2	11,339,336	めじゃ〜リーグ参加者数（人）	0	600	565	94	未達成	事業参加者数を評価するとほぼ達成である。 参加者の事後アンケートからは、運動が習慣化したなどの意見が多く、日頃健康づくり教室などに参加できない働く世代の人の運動を習慣づける機会となった。
15	食のまちづくり推進プロジェクト	健康づくり課	九大健康科学センターとの連携事業として、「食」による食育、健康づくりについて委託研究を実施する。	1	800,000	プロジェクトから新たな事業を創出する（事業数）	0	3	0	0	未達成	研究結果に基づき、抗酸化に有効な料理レシピができた。 今後、研究結果を活用し、食を通した健康づくりを推進していく。
16	元気高齢者表彰事業	健康づくり課	地域で活躍されている元気な高齢者を表彰し、その活動を紹介することで、高齢者の生きがいづくりならびに地域の活性化を図る。	3	746,920	表彰者（人）	0	240	110	46	未達成	目標値には達成しなかったものの、高齢者の社会参加活動の機運をあげることで、地域貢献活動による高齢者の健康づくりが図られると考える。平成26年度においても、表彰基準を一部見直し、継続して実施する。
17	道路ストック総点検事業	建設課	道路施設の点検を行い、要修繕箇所の把握を行う。	1	22,500,000	予定箇所の全調査点検（%）	0	100	100	100	達成	本事業により、道路施設の状況の把握ができた。 課題としては、今後定期的な点検及び修繕が必要である。
18	波多江公民館周辺整備事業	建設課	波多江公民館及び公園整備に伴い、アクセス道路の整備を行うことにより、利用者の安全性を確保する。	2	21,434,075	幅員確保延長（m）	0	150	153	102	達成	波多江公民館東側市道の車道幅員8.5mを81m、歩道幅員1.9mを80m及び北側市道の車道幅員6.5mを65m実施したことにより、公民館利用者安全を確保した。
19	溝添宮園線整備事業	建設課	幅員4.5mと狭く、片側には排水路があり、排水路を暗渠にすることにより、歩道の設置及び道路を拡幅する。	2	16,000,000	路線の歩道設置延長（m）	0	100	—	—	未達成	工事発注前の隣接者との要望協議に時間を要したことから、年度内に適応な工事期間を確保することができなかったため、予算の繰越しを行った。平成26年度11月末発注予定。
20	市営住宅長寿命化計画策定事業	施設管理課	市営住宅の改修や建替えなど、施設の長寿命化のための方針を定める。	1	1,995,000	計画策定の有無	未策定	策定済	策定済	100	達成	本計画を策定したことにより、今後は市営住宅の長期的・計画的な改修や建替え等を行うことが出来る。課題として、市全体のインフラ改修計画等を踏まえ、今後実施していく必要がある。
21	戸籍システム更新事業	市民課	WindowsXPの保守サービスの終了に伴い、Windows7用のシステムに更新するとともに、災害時のデータ滅失を防止するため、法務省データ管理センターと連携した戸籍副本のデータ管理を行う。	1	16,542,750	戸籍システムの更新及び大規模災害時の迅速な戸籍再製（%）	0	100	100	100	達成	平成26年3月にシステムを更新した。また、同月、法務省より戸籍副本データ管理システム市区町村専用装置の貸与を受け、北海道にある管理センターへ副本データ送信を開始した。これにより、大規模災害発生時に戸籍正本が滅失した場合でも、副本による迅速な戸籍再製が可能となった。
22	“夢”創造プロジェクトーいとしま天文台整備事業ー	生涯学習課	移動式の天文台を整備して、観望会等を実施。子どもたちに空や宇宙への夢を創造させる機会を設ける。	1	16,564,496	市内で行われる観望会等の数（回／年）	12	21	16	44	未達成	観望会等の開催回数は目標に達しなかったものの、初年度の観望会は10校区で16回実施することができ、参加者も約800人と多くの参加があった。今後は出前講座でも観望会を実施して、より多くの市民が参加できるようにする。また、指導ボランティアの育成を併せて行う。
23	波多江公民館整備事業	生涯学習課	現施設は、築25年以上で老朽化しており、瑞梅寺川東端の避難所機能も有した施設として建て替えを行う。	3	447,956,939	利用人数（人）	25,452	30,542	19,335	△120	その他	平成25年12月に完成、平成26年1月に開館をして地域のコミュニティ活動の場として多くの方に活用されている。ただし、昨年度は開館準備等のため閉館期間もあり、利用人数は目標値に達していない。
24	販路拡大推進事業	商工振興課	糸島物産展を市外で開催し、糸島の伝統産業や特産物のPRを行う。	1	11,000,000	物産展来客数（人）	0	2,000	6,000	300	達成	事業者だけでなく、PR場所の協力もあり、幅広く周知を呼び掛けることができ、大幅な集客増につながった。この集客を市内に結び付けるとともに、販路拡大につなげることが今後の課題として挙げられる。なお、カタログ事業は平成26年度まで実施するため、今回の評価はPR事業のみ実施する。
25	共聴施設対策事業	情報政策課	デジタル放送の難聴地域において、共聴施設組合が行う共聴施設新設事業に補助する。	2	9,929,000	胡麻田地区9世帯、福の浦地区7世帯において地デジの視聴を可能にする（世帯）	0	16	16	100	達成	本事業により、現在判明している地上デジタル放送難視地区における難視恒久対策は、すべて完了した。

番号	事業名	担当課	事業内容	期間 (年)	総事業費 (円)	指標名 (単位)	事業開始値 (A)	最終目標値 (B)	最終実績値 (C)	達成率 (%) (C)-(A)/(B)-(A)	評価	評価に対する理由など (未達成の理由、事業の効果、今後の課題など)
26	糸島市総合行政システム更新事業	情報政策課	WindowsXPサポート終了、システム間の連携不足等の課題を解決するため、電算システムを新たにクラウド方式により更新する。※H25一般財源のうち、14,869千円は他会計負担	1	(20,574,000) 70,367,000	64のシステムについて更新を行う（システム）	0	64	64	100	達成	64業務システムをクラウド方式の総合行政電算システムに移行したことにより、旧システムを7年間使用した場合と比較して、2億6千万円の削減効果が見込まれる。今後は、番号制度導入に向けて、個人番号の項目追加及び個人番号による行政機関、自治体間の個人情報の連携機能を追加するためのプログラム改修を行う。
27	志摩出張所建替事業	消防総務課	志摩庁舎前駐車場（北東側）に出張所を建設する。	2	93,852,425	老朽化した志摩出張所の建替建築（%）	0	100	100	100	達成	本事業により市内北部地域の重要な防災拠点を整備することができ、消防・救急体制の整備、充実強化を図ることができた。今後は、ますます複雑多様化する消防、救急業務に対応するために、施設の整備とともに消防職員の技術力等の向上に努め、更なる資質の向上を図っていく。
28	強い水産業づくり交付金事業	水産振興課	深江漁港の物揚場は、築50年が経過し、老朽化による倒壊の危険があるため、整備を行う。また、糸島市内のカキ小屋等を掲載したパンフレットを作成・配布し、集客を高め、漁業集落の活性化を図る。	3	57,662,950	深江漁港内危険箇所延長の減少（m）	60	0	0	100	達成	本事業により深江漁港内の危険箇所延長6.0mを減らすことができた。今後、漁港施設の老朽化の状況を調べる機能診断の実施及び機能診断結果に基づく機能保全計画の策定を検討する。
29	災害に強い漁港等整備事業	水産振興課	災害時の消波、船揚等のため、防風柵の設置、船揚場の補修、北防波堤工事を行う。	2	41,989,500	加布里漁港防風柵設置延長（m） 野北漁港内危険面積の減少（㎡） 福吉漁港漁船（119隻）の耐用年数の増（年） 新町漁港海岸崩落危険延長の減（m）	0 722 7 38	330 0 9 0	300 0 9 15	91 100 100 61	未達成	加布里漁港及び新町漁港海岸については、実施設計段階で工事内容を精査し実施した。本事業により野北漁港内の危険面積7.22㎡、新町漁港海岸の崩落危険延長2.3mを減らすことができた。今後、漁港施設の老朽化の状況を調べる機能診断の実施及び機能診断結果に基づく機能保全計画の策定を検討する。
30	再生可能エネルギー導入推進事業	生活環境課	九州大学工学研究院の協力を受け、白糸の滝ふれあいの里に小水力発電設備を設置する。	2	44,121,000	白糸の滝ふれあいの里電気料金（千円）	1,460	0	—	—	その他	小水力発電設備設置済。ただし、指標である電気料金は、平成26年度からの発電であるため、達成率を測るのは翌年度となる。
31	固定資産課税処理システム更新事業	税務課	WindowsXPサポート終了対応、災害に対する危機管理機能強化等を行い、安全性、効率性の高い電算システムを構築する。	1	31,500,000	固定資産情報（データ）の安全確保（市内全固定資産）	Web対応可 土地 0筆 家屋 0筆 償却 0個	Web対応可 土地 20万筆 家屋 6万筆 償却 3万個	Web対応可 土地 20万筆 家屋 6万筆 償却 3万個	100	達成	本事業によりシステムの安全性と効率性を高めることができた。今後、社会保障・税番号制度に係る改修を平成26年度及び平成27年度に予定している。
32	コミュニティ助成事業	地域振興課	福井神楽で使用する資材等の購入を支援し、地域活動を活発にし、伝統継承や青少年・後継者育成をさらに進めることで、地域コミュニティの活性化につなげる。	1	1,900,000	地域住民の参加数	100	200	200	100	達成	神楽の備品が整備されたことで、12月の奉納神楽に向けて、支障なく練習を行うことができた。また、神楽の演舞の活動がより盛んになり、後継者の継承や地域住民の交流・融和も一層図られており、地域コミュニティの活性化に繋がっている。
33	市営渡船ひめしま建造にかかる調査委託事業	地域振興課	船の老朽化に伴う新船の代替建造に係る調査を行う。	1	3,695,850	航路の安定的な運航（年間利用者数46,000人）	40,000	46,000	39,193	△ 13	その他	本事業により、姫島～岐志航路の航路診断と経営診断及び新船の代替建造に関する調査を実施し、糸島市航路改善協議会において効率的かつ安全な航路運営の方向性が明らかとなった。新船の代替建造については、本事業の調査結果に基づき、平成26年度に船舶基本設計を実施する。目標については、今回の事業のみでは達成できるものではないため、今後の基本設計、代替建造等の事業実施により達成を目指していく。
34	都市公園整備事業	都市整備課	水害・地震等の緊急時の地域防災の拠点又は避難場所として、波多江公民館建設に合わせて広場の公園整備を行う。	3	115,594,106	校区一人当たり公園面積（㎡／人）	0.67	1	1.12	136	達成	波多江公民館建設に併せて本地区の公園整備を行うようになっており、他の開発公園等もあり、当初目標は達成できた。
35	ふくおかの畜産競争力強化対策事業	農業振興課	畜産農家が整備する施設、機械等の整備に対する補助を行う。	3	104,843,118	延べ事業実施主体数（件）	0	15	16	107	達成	畜舎増築による飼養頭数の増加、飼槽・牛床改造による飼養管理の省力化、LED照明導入による生産コスト低減等によって、畜産農家の経営の安定等を図った。
36	農地集積協力金交付事業	農業振興課	農地集積に協力する農地所有者に協力金を交付する。	1	12,700,000	地域の中心となる経営体への農地集積（経営体）	0	29	31	107	達成	本事業により所有者31人分の農地を地域の中心となる経営体へ集積することができた。今後の課題は、制度改正で要件となった農地中間管理機構への農地の貸付などを検討する。

番号	事業名	担当課	事業内容	期間 (年)	総事業費 (円)	指標名 (単位)	事業開始値 (A)	最終目標値 (B)	最終実績値 (C)	達成率 (%) (C)-(A)/(B)-(A)	評価	評価に対する理由など (未達成の理由、事業の効果、今後の課題など)
37	農水産物集荷促進事業	農業振興課	福ふくの里の集客増、生産者の意欲向上及び担い手確保のために、直売所に出荷する生産物の集荷サービスを行う。	1	2,104,747	延べ集荷回数／年	0	4000 (H25.7月～)	1,680	42	未達成	目標値を高く設定したため未達成となったが、事業としては、集荷をすることで午後からの鮮魚の品ぞろえが格段に良くなり、集客数の維持につながっていると考える。 また、山間部の高齢農家からの出荷も始まり、地域の活性化に寄与していると判断している。
38	ファームパーク伊都国「ファームカーニバル」開催事業	農業振興課	春（４月）秋（１１月）の２回計４日間、「農力フェスタ」と「大収穫祭」を開催する。	1	1,589,176	来場者数の増加 (人)	8,000人 (H24実績)	15,000人	19,500	164	達成	春に好評だった収穫体験イベントメニューを増やしたこと及びインターネットテレビや新聞などのメディアに取り上げられたことにより、秋の大収穫祭は多くの参加者に恵まれた。
39	強い農業づくり交付金事業	農業振興課	西部カントリーエレベータの機能向上と施設の利用再編の支援により、土地利用型農業の振興を図る。	1	560,812,350	処理量2,000t級の乾燥施設（箇所）	0	1	1	100	達成	大型循環式への機能向上に伴い、乾燥効率が向上し、品質の高い麦の安定生産が可能になる。 また、集塵設備を大型湿潤式装置に変更したため、捕集効率が向上し、周辺への粉塵飛散が防止できる。
40	活力ある高収益型園芸産地育成事業	農業振興課	ハウス施設、省力施設・機械の整備や先進技術の導入、省エネルギー化など生産基盤の整備に対する補助を行う。	5	528,645,821	延べ事業実施主体数 (件)	0	45	51	113	達成	ハウス施設の整備、省力機械の導入等によって園芸農家の経営の安定等を図った。
41	水田農業担い手機械導入支援事業	農業振興課	米・麦・大豆の生産の集積に対応できるよう作業の省力化を図るため、高性能農業機械の導入経費に対する補助を行う。	5	210,339,360	延べ事業実施主体数 (件)	0	18	21	117	達成	大型機械等の導入支援によって、作業の省力化、農地の集約及び規模拡大等が促進され、土地利用型農家の経営の安定を図った。
42	糸島市農業活性化事業	農業振興課	機械・施設の整備等に取り組む認定農業者(目指す者含む)及び調査研究・開発を行う者に対し、事業に要する経費の一部を支援する。	3	171,998,163	認定農業者数（経営体）	383	400	384	6	未達成	実施期間中、64経営体が利用。本事業で新規の認定農業者が10数名増加した一方、ほぼ同数の認定農業者が高齢化等で未更新のため、目標を達成できなかったが、認定農業者の確保、育成、減少抑制の効果はあった。
43	農村環境整備事業	農林土木課	スライドゲート、水路改良など農業用排水路等の整備改善を行う。	3	22,836,700	要望箇所8箇所の整備実施	0	8	8	100	達成	平成23年度1箇所、平成24年度3箇所、平成25年度4箇所の整備を行った。農業用施設の改修要望は多いので、地元負担が軽減できるように事業を継続する。
44	農業基盤整備促進事業（農地の高度利用促進事業）	農林土木課	水田の排水不良を改善するために、暗渠排水施設を施工する者に対して補助を行う。	1	10,500,000	要望件数２件	0	2	2	100	達成	平成25年度は要望件数が2件あり、申請者により約7haの農地の暗渠排水施設の整備を実施され、水田の排水不良を解消することができた。平成27年度以降の事業要望があるので、今後も本事業を実施する予定である。
45	農業基盤整備促進事業	農林土木課	雷山大溜池の機能診断を行い、機能保全計画に基づく対策工事等を一体的に実施する。	2	55,000,000	漏水の心配度（％）	50	0	0	100	達成	平成22年度に機能診断を実施し、調査結果により取水ゲート、取水塔、余水吐の改修工事を平成24、25年度に実施した。改修工事後は漏水も止まり、施設機能を改善することができた。
46	農山漁村活性化対策整備事業	農林土木課	中山間地域の農業用水路の高低差を利用し、水力発電装置を用いて農業用施設に電力を供給する。	2	22,000,000	２施設の年間電気代金（千円）	1,900	800	1,598	27	未達成	当初計画では売電収益を1,100千円見込んでいたが、調査の結果発電水量が少なく、出力を11KWから3.2KWに事業規模を縮小することとなった。今後は農村が持つ地域資源のモデル地区として施設見学会等を行い、地域の活性化に活用していく。
47	林道点検診断事業	農林土木課	林道の橋梁点検及び主要な橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、予防的な修繕を行い、橋梁の長寿命化を図る。	1	4,935,000	橋梁調査　30橋 修繕計画策定　４橋	調査　0橋 計画　0橋	調査　30橋 計画　4橋	調査　33橋 計画　33橋	調査　110 計画　825	達成	平成25年度は、調査及び調査結果をもとにした修繕計画を策定した。橋梁の修繕計画について、平成26年度に実施計画に計上し、平成27年度から計画的に修繕を行い、長寿命化を図る。
48	I C T街づくり推進事業	秘書広報課	九州大学のＩＣカード技術を活用し、災害時の避難効率の向上を図ることをはじめ、高齢者や子どもの見守りなどにも活用する。	1	357,840	広域避難訓練時の人員確認のための合計所要時間（分）	95 (60)	45 (30)	43	104	達成	本事業により、広域避難訓練での人員確認の所用時間を半分以下に短縮することができた。今後、各自主防災組織自らカードリーダーを利用した人員確認ができるよう、より実用的にしていく必要がある。 また、小学生の登下校情報の保護者へのメール配信を実施することができたが、まだまだ配信ミスなどがあるため、精度を高めていく必要がある。 なお、目標については人員確認のための合計所要時間を半減させることとしていたため、達成と判断している。
49	健康福祉センター施設調査・修繕計画策定事業	福祉支援課	健康福祉センター「あごら」及び「ふれあい」の建物を含む施設の状況を診断し、長期的な改修計画を策定するための資料とする。	1	1,239,000	計画策定の有無	未策定	策定済	策定済	100	達成	長期修繕計画を年度内に策定した。今後は修繕計画をもとに、優先度の高いものから計画的に修繕を行う。
50	地域福祉計画策定等事業	福祉支援課	地域でお互いを支え合う仕組みづくりを目的に、地域福祉計画を策定する。	1	2,881,091	計画の策定	未策定	策定済	策定済	100	達成	年度内に計画書の策定を終えた。また、H26年5月に計画書ダイジェスト版を全戸配布し、市民に周知を図った。

番号	事業名	担当課	事業内容	期間 (年)	総事業費 (円)	指標名 (単位)	事業開始値 (A)	最終目標値 (B)	最終実績値 (C)	達成率 (%) (C)-(A)/(B)-(A)	評価	評価に対する理由など (未達成の理由、事業の効果、今後の課題など)
51	姫島介護福祉施設整備事業	福祉支援課	姫島託児所を解体し、多目的機能（デイサービス、診療所、託児所など）を有する介護福祉施設を建設する。	2	103,092,937	利用者満足度（%） ※アンケート調査を実施	0	80	80	100	達成	託児所及び生きがいデイサービス利用者ともに、利用に関して満足されている。姫島福祉センターにて託児所と生きがいデイサービスを実施することになったため、子どもと高齢者の交流事業も行われている。
計					3,433,331,577					達成	35	
										未達成	11	
										その他	5	